

[ポスター1]

移動可能イエシロアリ飼育装置の紹介

廣瀬博宣（廣瀬産業株式会社）

The movable breeding box for a *Coptotermes formosanus* colony

Hironobu HIROSE (HIROSE INDUSTRY CO.,LTD)

1. はじめに

廣瀬産業株式会社は、平成13年からイエシロアリ営巣を多数飼育してきた。過去の経験を基に平成28年6月、コンパクトで移動可能な飼育装置を考案製作した。大きな営巣2個を新装置に移設し、飼育を続けている。新装置は白蟻の動きが観察でき、実験と展示の両方で活躍している。このイエシロアリ営巣飼育装置の概要を紹介する。

2. 新飼育装置の基本仕様

新飼育装置の基本仕様を以下に示す。

- 1) コンパクトで移動可能な構造とする
- 2) 営巣場所と水取場、餌取場を分離した構造とする
- 3) 白蟻の動きが観察可能な構造とする
- 4) 水取面積を大きくし、水位を維持できる構造とする
- 5) 餌取場面積を大きくした装置とする
- 6) 営巣設置場所には木箱を設ける

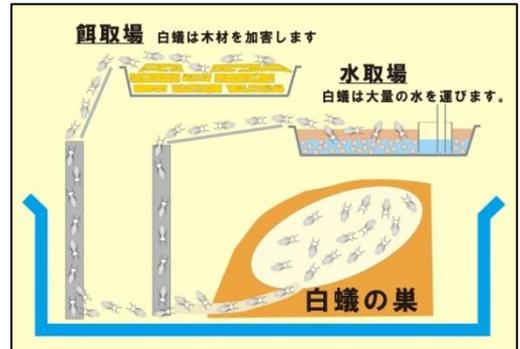


図1 イエシロアリ営巣飼育装置構造

3. 新飼育装置の構造・寸法

新飼育装置の、構造・寸法を以下に示す。(図1)

- 1) 容器 硬質プラスチック 703×503×H411mm
- 2) 木箱 ベニヤ合板 L610×W420×H450mm
- 3) 餌取場 ステン浅長パット 400×240×H66mm
- 4) 水取場 ステン深長パット 360×216×H96mm
- 5) 水位維持 レベルスイッチとチューブポンプ
- 6) 連絡通路 セメント板とガラス板
- 7) 架台 スチールラック

4. 新装置の構造写真

新飼育装置の外観を写真1に、水取り場へのシロアリ挙動を写真2に示す。



写真1 イエシロアリ営巣飼育装置

5. 新装置の試験・展示実績

新飼育装置の試験・展示実績を以下に示す。

- 1) 試験実績 蟻道構築試験(紛争反論用)
- 2) 展示実績 大分県住宅展(H28.10)
- 3) 展示実績 鹿児島県住宅展(H28.10)
- 4) 展示実績 長崎全国大会(H28.11)
- 5) 展示実績 第32回IPM基礎講座(東京 H29.01)



写真2 水取装置へのシロアリ挙動

6. まとめ

新飼育装置は、長距離を移動しても、各会場でシロアリの挙動を来場者に示すことができた。また、ガラス板の中を行き来するイエシロアリ職蟻の中には、若職蟻が混じっていた。このことは新飼育装置で、産卵、幼虫の成育が行われていることを示している。新飼育装置は、営巣の繁殖が可能で、営巣の活性を高く維持できる装置であることが確認できた。今後、残りの飼育営巣も順次、新飼育装置への移設を予定している。